

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		H23	【状況】 A実施/ B未着手/ C未実施/ D中止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために</b>											
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。											
1	1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の市民を対象とした見学の機会を拡充します。	市民を対象とした 清掃施設見学会の回数	2回/年	2回/年	☆			A	いずみ環境くらぶの取組みとして、環境関連施設見学を行った。(河内長野市における里山保全の取組み等の視察を実施。)	2	見学会の拡充を検討する必要がある。
2	◆ 2 「星空観察会(スターウォッチング)」「水辺の自然観察会」など、市民参加による自然環境の観察の機会を拡充します。	市民を対象とした 自然観察会の回数	3回/年	3回/年	☆		3回/年	A	7/23に父鬼川にて76名の一般市民の参加を得て「水辺の自然観察会」を開催した。また、7/28と1/25には、いずみふれあい農の里にて「星空観察会」を開催し、それぞれ93名、23名の参加があった。	2	いずれの事業も環境に対する市民の意識啓発として効果的であったと考える。今後は、自然環境の観察機会の拡充を図っていく必要がある。
② 環境学習会、環境関連講座の機会を拡充します。											
3	◆ 1 生涯学習講座において、環境に関する講座・教室など、ライフステージに応じた学習機会の充実に努めます。				☆			A	環境家計簿講習会を年2回実施した。	2	参加人数を増やし、取組みを広げていくことが課題である。
③ 活動のなかまづくりを進め、活動の環を広げます。											
4	◆ 1 「こどもエコクラブ」について広く知ってもらい、登録団体数の増加に努めます。	こどもエコクラブの 登録団体数	6団体	9団体	☆		6団体	A	ホームページ等を利用し、情報の掲載を行った。	3	事業内容の効果的な周知方法を検討する必要がある。
5	2 環境関連の活動をしている団体について市民に情報提供し、活動の活性化や団体間の交流の活性化を促進します。				☆			A	自然環境関連の取組みを行っている市内NPO団体の後援を行い、活動を支援した。	3	環境関連の活動をしている団体をコーディネートできるような体制作りが今後の課題である。
④ 事業者向け講習会の機会を設けます。											
6	1 環境に関する事業者向け講習会の開催を検討します。					☆		B	未実施	4	事業内容を検討する必要がある。
<b>施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために</b>											
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。											
7	1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の見学の機会を拡充します。	生徒・学生を対象とした 清掃施設見学会の開催回 数	1回/年	1回/年	☆			A	いずみ環境くらぶの取組みとして、環境関連施設見学を行った。(河内長野市における里山保全の取組み等の視察を実施。)	2	見学会の拡充を検討する必要がある。
8	◆ 2 自然環境の観察の機会を拡充します。				☆			A	自然環境の観察機会として、水辺の自然観察会と星空観察会を実施した。	2	観察機会の拡充を検討する必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H22)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし
② 環境について学ぶ機会を拡充します。											
9	1 地域の自然環境や歴史・文化などに関わる教育副読本の作成を検討します。					☆		A	自然環境の調査を実施した。	3	調査後、取りまとめを行い、冊子等を発行する予定である。
10	2 地域住民との協働によるエコマップ作成など住民参加型副読本作りについて検討します。					☆		B	未着手	4	実施に向け、検討を行う予定である。
11	3 学校教育において「Kids' 環境マネジメントシステム」の導入を検討します。					☆		B	未着手	4	実施に向け、検討を行う予定である。
④ 外部の人材を活用した環境教育を行います。											
12	1 「いずみ環境くらぶ」など、外部の環境問題への取組を行っている人材を活用し、環境教育を充実します。					☆		A	環境教育事業の実施にあたっては、いずみ環境くらぶなど外部の講師を活用した。	2	今後も人材活用を図り、環境教育の充実にも努める必要がある。
<b>施策の柱1—2 環境保全活動の支援・促進</b>											
<b>施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために</b>											
① 環境情報の収集と提供を行います。											
13	◆ 3 日常生活や事業活動で、一人ひとりができる環境にやさしい行動の取組について情報提供します。	環境保全のために 何か行っている市民の割合	71.2%	78.3%	☆		70.4%	A	市広報誌等を利用し、情報提供を行った。	2	情報提供時には、できるだけ分かりやすい内容にするよう工夫が必要である。
14	4 環境月間などでの公共施設でのパネル展示、ポスター・標語コンテストなどの環境イベントを実施します。					☆		A	6月の環境月間にパネル展示を実施した。	3	今後も、環境パネルなど、環境啓発、環境イベントの実施に努める必要がある。
15	5 「商工まつり」などのイベントを活用した、普及・啓発活動を実施します。	イベント時のブース設置	1回/年	1回/年	☆			A	いずみ環境くらぶとの協働により、イベント時に啓発活動を実施した。	2	今後も引き続き、普及啓発に努めていく必要がある。
16	6 広報のコラムやホームページのトピックスなどで環境に関する身近な話題を提供します。					☆		A	市広報誌等を利用し、情報提供を行った。	3	今後も引き続き、情報提供を行っていく必要がある。
17	7 「和泉市地域新エネルギービジョン」や「和泉市地球温暖化対策実行計画」などの環境に関する計画を、市民等・事業者に普及・啓発します。					☆		A	ホームページに掲載することにより周知を行った。	3	効果的な周知方法を検討する必要がある。
18	8 環境マネジメントシステムについて情報を提供し、導入を促進します。					☆		A	事業者に環境法令等のISO導入に必要な事項についての情報提供を行った。	3	積極的に情報提供やアドバイスを実施できる体制を作る必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	
<b>施策の方向1-2-2 環境保全活動への支援を推進するために</b>												
① 活動への支援体制を充実します。												
19	◆ 1 本市における環境活動の中心となっている「いずみ環境くらぶ」と「和泉市環境人材プログラムバンク」の機能の統合を検討し、環境活動への支援体制を強化します。	いずみ環境くらぶの登録人数	45人	68人			☆	41人	B	未着手	4	実施に向け、検討を行う予定である。
20	◆ 2 市の環境関係の窓口を充実し、環境活動への支援に努めます。						☆		A	いずみ環境くらぶなど、市民等が実施する環境活動の支援を行った。	3	市民等が実施する環境活動の支援の拡充を図っていく。
② 各種補助金制度、支援制度などの活用を図ります。												
21	1 国、府、公共団体などによるさまざまな補助事業制度、助成事業制度などについて情報を収集し、提供します。						☆		A	適宜、情報提供等を実施した。	2	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。
<b>施策の方向1-2-3 国際的・広域的な連携を推進するために</b>												
① 国際協力・交流を推進します。												
22	1 「いずみワールドフェスティバル」などを活用し、外国における生活文化や環境について留学生など外国人市民の方から話を聞く機会を設けます。						☆		B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
23	2 友好・姉妹都市である南通市（中国江蘇省）やブルーミントン市（米国ミネソタ州）と“環境”という視点からも交流を行います。						☆		B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
24	3 事業者や民間団体による環境国際交流を支援します。						☆		B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
② 広域的な連携を推進します。												
25	◆ 1 広範囲に及ぶ環境問題に対応するため、府や近隣市をはじめとする市町との情報交換、交流、合同調査などを実施します。								A	大津川水域水質保全対策協議会を組織しており、その中で近隣市との情報交換や啓発活動を実施した。	2	今後も継続して、情報交換等に努めていく必要がある。
③ 地球環境NGOに協力します。												
26	1 地球規模の環境問題への取組を行う国際的・広域的な環境保護団体との情報交流を行い、国際的・広域的な環境保全活動を市民等・事業者を紹介します。						☆		A	適宜、情報提供等を実施した。	3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H21)	目 標 値 (H22)	継 続	短 期	長 期		H23	【状況】 A実施/ B未着手/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用</b>											
<b>施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために</b>											
① 省エネルギー化を推進します。											
27	2 公共施設におけるESCO事業の導入について検討します。					☆		B	未実施	4	ESCO事業に限らず、省エネ事業の導入の検討を行う必要がある。
28	3 ESCO事業などの省エネルギー対策について普及・啓発し、工場や事業所の省エネルギー化を促進します。					☆		B	未実施	4	ESCO事業に限らず、省エネ対策の普及・啓発に努める必要がある。
④ 省エネルギー型家電製品、省エネルギー型機器などの情報提供に努めます。											
29	1 省エネルギー型家電製品、省エネルギー型機器などに関する情報を収集し、市民等・事業者へ提供します。					☆		A	適宜、情報提供等を実施した。	2	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。
⑤ 生産・流通におけるエネルギー消費の抑制に努めます。											
30	◆ 1 フード・マイレージを考慮し、農作物の季節に応じた露地栽培や地元での販売購入（地産地消）を奨励します。					☆		B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
31	2 効率的な物流システムの構築を促進します。					☆		B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
32	◆ 3 「テクノステージ和泉まちづくり協議会」を核として、工場間の連携を通じた省エネルギー化への取組を促進します。	省エネルギー化の事例資料を 総会時に配布	1回/年	1回/年		☆		B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
⑥ 省エネルギー意識の啓発に努めます。											
33	1 省エネルギー化への取組について市民等・事業者への啓発を行います。					☆		A	市広報誌等を利用し、情報の提供及び啓発を行った。	2	今後も、引き続き、普及啓発に努めていく必要がある。
34	2 クールビズ・ウォームビズについて普及・啓発を行います。					☆		A	市広報誌等を利用し、普及・啓発を行った。	2	今後も、引き続き、普及啓発に努めていく必要がある。
35	3 環境家計簿、環境にやさしい暮らしの手引きなどの充実と普及に努めます。					☆		A	環境家計簿の講習会を年2回実施した。	2	今後も、引き続き、環境家計簿の普及に努めていく必要がある。
36	◆ 4 低炭素モデル事業所の顕彰制度の創設について検討します。					☆		B	未着手	4	実施に向け、検討を行う予定である。
37	◆ 5 国の「チャレンジ25キャンペーン」に基づき、温室効果ガス排出の削減について啓発を行います。	市民一人当たりのCO2排出量	4,567kg	3,882kg		☆	4,320kg (H22)	A	市広報誌・各種イベント等を利用し、温室効果ガス排出削減の啓発を行った。	2	今後も、引き続き、温室効果ガスの排出削減の普及啓発に努めていく必要がある。
<b>施策の方向2-1-2 新エネルギーの利用を推進するために</b>											
① 新エネルギーの利用を推進します。											
38	◆ 1 「和泉市地域新エネルギービジョン」に基づき、市民等・事業者の新エネルギー利用を促進します。					☆		A	ホームページ等で情報を提供し、新エネルギーの利用促進を図った。	3	環境負荷の少ない新エネルギーの利用促進を図っていく必要がある。
39	2 公共施設におけるソージェネレーションや太陽光発電などの新エネルギーの利用を推進します。					☆		A	ISO14001の取組みの中で規定することにより関係課と連携し、推進を図った。	2	環境負荷の少ない新エネルギーの利用促進を図っていく必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H21)	目 標 値 (H22)	継 続	短 期	長 期		H23	【状況】 A実施/ B未着手/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし
40	◆ 3 住宅への太陽光発電システムの設置に対し、補助金の交付を行います。			☆				A	補助金交付事業を実施した。(補助総額1500万円、補助件数151件)	2	財源の確保が課題である。
41	4 バイオマスエネルギーの活用について検討します。				☆			B	未着手	4	活用方法について、関係部局と調整を図る必要がある。
② 新エネルギーについての情報提供に努めます。											
42	◆ 1 新エネルギーに関する情報を収集し、市民等・事業者に対して提供することで、新エネルギーの利用促進を図ります。			☆				A	ホームページ等で情報を提供し、新エネルギーの利用促進を図った。	3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。
<b>施策の柱2-2 環境にやさしい交通手段による移動の推進</b>											
<b>施策の方向2-2-1 車をかしく使うために</b>											
③ 自動車の適正な利用を促進します。											
43	◆ 4 自動車のアイドリングストップなど、エコドライブの実施を促進します。			☆				A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供するとともに広報等での啓発も実施した。	2	今後も、引き続き、エコドライブの実施促進に努めていく必要がある。
44	5 ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車などの低公害車の普及啓発を行います。	公用車のエコカー割合	36.8%	増加	☆		30.3%	A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	2	今後も、低公害車の普及啓発に努めていく必要がある。
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱3-1 生物多様性の確保</b>											
<b>施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために</b>											
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。											
45	◆ 1 「生物多様性基本法」に基づき、自然と人の共生を目指した取組を進め、地域の自然環境の保全と質の向上に努めます。			☆				A	取組の一環として、生息状況の把握等を実施した。	2	高いレベルで取組を進めていけるよう今後検討していく必要がある。
46	3 生きものの生息調査を実施し、現状把握に努めます。			☆				A	生きものの観察会を実施し現状把握に努めた。	2	今後も、引き続き、生息調査を実施し、現状把握に努める必要がある。
47	◆ 4 市民参加による生きもの調査を実施し、生物多様性に関する市民の意識啓発に努めます。			☆				A	市民参加の生きもの観察会を継続実施した。	1	今後も、引き続き、市民参加による生きもの調査を実施するなど、市民の意識啓発に努めていく。
48	5 生きものの生育・生息環境の保全に努める市民活動を支援します。			☆				A	市民活動の支援として、活動団体の後援を行った。	2	支援の拡充を図っていく必要がある。
49	◆ 6 開発行為などの際には、生物多様性の保全について適切な配慮をするよう事業主に指導又は助言を行います。			☆				A	北部地域公共施設整備事業用地については、関係課と保全のあり方等について調整を図った。	2	配慮が必要な場所の開発については、事業主などに指導等を行う必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H22)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手/ C未実施/ D廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
② 外来生物の対策と適正な管理を行います。											
50	◆ 1 生態系に大きな影響を及ぼすおそれのある外来生物などの生息・分布状況の把握について検討します。					☆		A	生きもの調査等において、外来生物の生息状況の把握に努めた。	3	詳細な生息・分布状況の把握が課題である。
51	◆ 2 特定外来生物について、市民団体などと協力し対策を検討します。			☆				B	未着手	4	特定外来種に関する情報を提供するとともに効果的な対策を検討する必要がある。
52	3 生態系に大きな影響を及ぼすおそれのある外来生物などが市民によって、放流・遺棄されることがないように情報提供・意識啓発に努めます。					☆		B	未着手	4	啓発方法等について検討し、市民等に周知する必要がある。
53	4 海外の野生生物や貴重種の輸入の自粛と、本来の生息環境にないところへの動植物の移入による生態系への影響を防止するため、適切な飼育栽培管理と情報の周知を図ります。					☆		B	未着手	4	啓発方法等について検討し、市民等に周知する必要がある。
③ 絶滅危惧種や天然記念物の調査・保全に努めます。											
54	◆ 1 絶滅が危惧される生物や天然記念物の生息・分布状況を把握し、保全に努めます。			☆				A	生きもの観察会等で調査を実施した。	2	保全の手法等について、検討を行う必要がある。
55	2 調査結果について必要に応じ、ホームページや広報などで公表し、保全意識の啓発を図ります。			☆				A	調査結果の概要について、ホームページ等に公表した。	3	危惧種については盗掘等の恐れもあることから情報提供時には注意が必要である。
56	◆ 3 貴重種保護の周知徹底を図り、むやみな採取や捕獲をしないよう啓発に努めます。			☆				A	生きもの調査、自然観察会等において、貴重種保護の周知等を行った。	3	市民の意識向上に繋がるような周知の手法を検討する必要がある。
<b>基本目標 4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱 4-2 廃棄物の適切な処理の推進</b>											
<b>施策の方向 4-2-1 3Rを推進するために</b>											
② 環境にやさしい製品の購入を促進します。											
57	2 「エコマーク」「エコリーフ」などの第三者機関による環境ラベルの情報や、「カーボン・オフセット認証ラベル」「カーボンフットプリントマーク」など、環境負荷の少ない物品の情報提供を行います。					☆		A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供するとともに広報等での啓発も実施した。	3	啓発方法等について検討し、市民に情報提供をすることが必要である。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H22)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし
<b>施策の方向4-2-2 環境負荷の少ないごみ処理を推進するために</b>											
④ 産業廃棄物の適切な処理を促進します。											
58	2 不法投棄されやすい場所の定期的パトロールや防止看板設置、キャンペーン実施によって、不法投棄の防止に努めます。	不法投棄のパトロール回数	34回/年	48回/年	☆			A	定期的に不法投棄のパトロールを実施した。	2	引き続き、不法投棄の防止に努める必要がある。
59	3 不法投棄が発生した場合には、警察などと連絡を取り、投棄者の究明と迅速な原状回復を図ります。				☆			B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために</b>											
① 継続的な環境調査を実施します。											
60	1 大気質、水質、土壌について、今後も引き続き測定調査を実施し、必要に応じて適宜調査地点の見直しを行います。	環境基準達成率 大気（水質）	100% (90%)	100% (100%)	☆		100% (89%)	A	適宜調査を実施した。	1	必要に応じ、調査地点の見直し等を検討する。
61	2 調査結果は「和泉市の環境」ほか、ホームページ、広報などで公表します。				☆			A	調査結果を「和泉市の環境」及びホームページで公表した。	1	今後も、引き続き、調査結果の公表を行う必要がある。
② 事業活動における環境負荷の削減などへの啓発に努めます。											
62	1 工場や事業所など事業活動に伴う大気質、水質、土壌への汚染物質の排出について規制・指導・監視を継続して行います。	公害苦情受付件数	25件	21件	☆		25件	A	適宜、工場・事業所の指導等を実施した。	1	今後も、引き続き、指導等を行う必要がある。
③ 自動車からの排気ガスの削減に努めます。											
63	1 環境にやさしい交通手段による移動の推進により、排気ガスの削減を図ります。(2-2-1参照)				☆			A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供するとともに、広報等での啓発も実施した。	2	関係機関と連携するとともに今後も引き続き、排気ガスの削減を図っていく必要がある。
④ 大気質の浄化に努めます。											
64	2 屋外燃焼行為（野焼き）の禁止について啓発します。				☆			A	広報等で啓発を実施した。	2	今後も、引き続き、啓発等を行う必要がある。
⑤ 計画的な排水処理による水質の浄化に努めます。											
65	3 公共下水道計画区域外や計画区域内にあって下水道整備までに期間を要する区域では、合併処理浄化槽の普及促進及びその他の処理手法にて、生活排水処理を進めます。				☆			A	生活排水対策の一環として、合併処理浄化槽の設置や維持管理の補助金制度を実施した。	2	地域や状況に相応しい生活排水処理手法を検討していくことが課題である。
⑥ 地下水利用及び水質汚染を監視します。											
66	1 地下水の適切な利用や地下水汚染についての規制、指導、監視を継続して行います。				☆			A	地下水の規制等は大阪府で所管であるが、対策の会議等には出席した。	2	関係機関と連携して、指導、監視を継続する必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>施策の方向5-1-2 感覚環境（熱、かおり、音）を守るために</b>											
<b>① ヒートアイランド対策を進めます。</b>											
67	1 日射をさえぎるとともに、植物の蒸散作用により壁面温度の上昇を抑制する効果がある緑化（緑のカーテンなど）を促進します。			☆				A	庁舎2ヶ所にゴーヤによるグリーンカーテンを設置した。市立保育園（16園）には、いずみ環境くらぶと協働で資材の提供を行いグリーンカーテンを設置していただいた。	2	今後も引き続き普及促進に努めていく必要がある。
68	2 高密度・高断熱住宅や、風や光などの自然を取り入れた省エネ建築物の普及・啓発を検討します。			☆				A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3	必要に応じ、関係部署と連携して普及・啓発を行っていく必要がある。
69	3 雨水やお風呂の残り湯などを再利用した打ち水を促進します。					☆		B	未実施	4	今後は雨水の利用促進を図っていく必要がある。
<b>② 悪臭対策を進めます。</b>											
70	1 工場、事業所などに対する悪臭発生の防止の指導を行うとともに、悪臭物質の規制基準の遵守について指導を行います。			☆				A	工場、事業所の立入り時に適宜指導を実施した。	1	今後も引き続き、規制基準の遵守について指導を行う必要がある。
<b>③ 騒音・振動対策を進めます。</b>											
71	1 市内の主要な地点において今後も引き続き騒音の調査を実施し、必要に応じて適宜調査の地点の見直しを行います。	騒音基準達成率 道路（一般地域）	71.4% (91.7%)	78.5% (100%)	☆		85.7% (83.3%)	A	適宜調査を実施した。	1	必要に応じ、調査地点の見直し等を検討する。
72	2 調査結果は「和泉市の環境」ほか、ホームページ、広報などで公表します。			☆				A	和泉市の環境及びホームページで結果を公表した。	1	今後も、引き続き、調査結果の公表を行う必要がある。
73	3 工場、事業所などに対する騒音・振動の規制、指導、監視を継続します。			☆				A	適宜、工場・事業所の指導等を実施した。	1	今後も、引き続き、指導等を行う必要がある。
74	4 建設工事における低騒音型・低振動型機械の使用及び低騒音・低振動工法の実施について啓発、指導を行います。			☆				A	適宜、特定建設作業実施の届出時等に啓発や指導を行った。	1	今後も、引き続き、指導等を行う必要がある。
75	5 深夜営業、カラオケなどの店舗などに対して騒音が発生しないよう指導、監視を行います。			☆				A	大阪府と連携して指導等を行った。	2	今後も、引き続き、大阪府と連携し指導等を行う必要がある。
76	6 テレビ、オーディオ、ピアノなどの楽器、自家用車の音などが騒音とならないようモラルの向上を図れるよう啓発に努めます。			☆				A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3	今後も、引き続き、啓発を行う必要がある。
77	7 国道26号、国道480号、泉大津美原線、和泉中央線など環境基準を越える騒音が発生しやすい道路の沿道地域や道路を新設する場合において、緩衝緑地の設置検討・整備を関係機関に要請します。			☆				A	騒音調査の結果、要請限度を超過していないため、関係機関に要請は行っていません。	3	必要に応じ、関係機関と調整を図っていく。



# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし
<b>施策の方向5-1-3 化学物質などによる環境リスクを低減するために</b>											
① 有害化学物質に関する情報を迅速かつ正確に把握します。											
78	1 有害化学物質に関する情報を収集し、提供します。			☆				A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。
79	2 アスベスト問題、酸性雨問題、オゾン層破壊、代替フロン問題などの化学物質が起因となる環境問題について情報を収集し、提供します。			☆				A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。
② 有害物質の発生の未然防止に努めます。											
80	1 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排出基準の遵守及び屋外燃焼行為（野焼き）の禁止について啓発します。			☆				A	野焼きの禁止については、広報やホームページで啓発を行った。	2	今後も、引き続き、啓発等を行う必要がある。
81	2 光化学スモッグの要因の一つである揮発性有機化合物(VOC)を含む溶剤系外壁材塗料など有機溶剤の使用抑制を啓発します。			☆				A	開発協議時に協議事項に盛りこむことにより建築業者等に指導した。	2	今後も、引き続き、啓発等を行う必要がある。
③ 地球環境に影響を与える化学物質への対応に努めます。											
82	1 酸性雨の原因物質である硫酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)などの大気汚染物質の排出削減を図るため、大気汚染防止法、自動車NOx・PM法の遵守について啓発するとともに、かしこい車の使い方について啓発します。			☆				A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3	関係機関と連携を図り、啓発等を行う必要がある。
83	2 オゾン層破壊の要因となる特定フロンや温室効果ガスである代替フロンなどは、フロン回収破壊法や自動車リサイクル法、家電リサイクル法に基づき適切に処理するよう啓発します。			☆				A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供するとともに、府や関連部局と連携して業務を行った。	3	関係機関と連携を図り、啓発等を行う必要がある。
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-1 まちの環境美化を推進するために</b>											
① ポイ捨てしないマナーの向上に努めます。											
84	3 地域の人々の清掃活動への参加や環境パトロールの展開を検討します。	地域清掃活動の実施回数	375回/年	400回/年	☆			A	いずみ環境くらぶが実施している清掃活動に参加した。	3	必要に応じ、関係部局と連携を図っていく必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等		
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>										
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>										
<b>施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために</b>										
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。										
1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の市民を対象とした見学の機会を拡充します。	市民を対象とした 清掃施設見学会の回数	2回/年	2回/年	☆			2回/年	A	リサイクル視察 研修（三重中央開発 ㈱・大阪いずみ市民 生協）を実施	1 ごみ減量とリサイク ルの推進が図れた
<b>施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために</b>										
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。										
1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の見学の機会を拡充します。	生徒・学生を対象とした 清掃施設見学会の開催回 数	1回/年	1回/年	☆			1回/年	B	未着手	4 見学会の充実を図 ります
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>										
<b>施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用</b>										
<b>施策の方向2-1-2 新エネルギーの利用を推進するために</b>										
① 新エネルギーの利用を推進します。										
4 バイオマスエネルギーの活用について検討します。					☆			B	未着手	4 関係機関と調整を図 ります
③ ごみ焼却によるエネルギーの利用を促進します。										
1 ごみ焼却施設の焼却熱を利用した発電や、温水プールへの利用を図ります。					☆			A	ごみ焼却による発電 及び余熱を温水プー ルに利用している	1 現状を継続していく
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちなちをつくる</b>										
<b>施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進</b>										
<b>施策の方向4-1-1 リデュース（廃棄物の発生抑制）を推進するために</b>										
① 「ごみゼロ社会への挑戦」の実施と推進に努めます。										
◆ 1 市民等・事業者・市が主催者となってキャンペーン展開を行い、広く市民に広報します。				☆				A	啓発用外（ごみダ イエット作戦）を全 戸配布	2 日常ごみから紙ごみ の減少を目指す
2 消費者に買い物袋（マイバッグ・エコバッグ）持参の呼びかけを行います。				☆				A	出前授業市内小学4 年生51クラスで実 施	2 ごみ減量とリサイク ルの推進が図れた
3 簡易包装、量り売りを促進します。				☆				B	未着手	4 関係機関と調整を図 ります
② ごみ減量情報の提供に努めます。										
1 府の「エコショップ制度」について情報提供を行い、登録を促進します。	エコショップ登録店舗数	32店舗	35店舗	☆			16店舗	A	登録制度の案内実施	2 登録店の増加を目指 す
◆ 2 彩生館の催し、エコショップ情報、エコ商品情報など、ごみの発生抑制と減量に関する情報を一元的に集め、発信する機関の整備を行います。				☆				A	彩生館だより、市 ホームページに情報 を掲載	2 ごみ減量とリサイク ルの推進が図れた
③ 市民等・事業者・市の協働によりごみの減量化を促進します。										
◆ 1 家庭から発生するごみの減量化を促進します。	家庭ごみの削減率	H12年比	25%	☆			22%	A	分別の徹底、紙ごみ のリサイクルの促 進・啓発	2 ごみ減量とリサイク ルの推進が図れた
◆ 2 エコオフィス活動の取組を啓発し、事業活動におけるごみの減量化を促進します。	事業ごみの削減率	H12年比	25%	☆			22%	A	多量排出業者の調査 及び指導を行った	2 ごみ減量とリサイク ルの推進が図れた

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
◆ 3 公共施設におけるごみの減量化に努めます。	市役所のごみの削減率	H12年比	25%	☆			22%	A	分別と資源物のリサイクルの徹底を実施	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
<b>施策の方向4-1-2 リユース（再使用）を推進するために</b>											
① 容器の再使用について普及・促進します。											
◆ 1 リターナブル容器や詰め替え用容器の利用を促進するとともに、トレイやバックなどの再使用や効率的な容器の回収方法について検討します。				☆				A	資源物、新分別収集により再資源化を図った	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
② 物を修理して長く使うことを促進します。											
1 彩生館における廃棄物の再生利用などの推進事業を継続して行います。				☆				A	再利用に関する教室及びフリーマーケット等を実施した	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
◆ 2 彩生館とシルバー人材センターが協力して「おもちゃの病院」「自転車修理工房」など、持ち主が修理して長く使うことができる体制を維持します。	彩生館の利用者数	40,161人/年	41,000人/年	☆			48,429人/年	A	修理で再使用をしてごみ減量を図った	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
③ フリーマーケットの実施を促進・支援します。											
◆ 1 彩生館におけるフリーマーケットの開催を行います。	フリーマーケットの開催数	2回/月	2回/月	☆			2回/月	A	フリーマーケットの実施により再生利用を図った	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
2 市内のフリーマーケットの開催情報や、不要物の交換情報などの提供を行います。				☆				A	広報、彩生館だより等により情報提供を行った	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
<b>施策の方向4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために</b>											
① 生ごみの堆肥化を促進します。											
1 家庭や学校などで発生する生ごみの堆肥化を促進します。				☆				B	未着手	4	関係部署と調整を図ります
◆ 2 家庭用生ごみ堆肥化容器の設置補助金の交付を継続して行います。	生ごみ堆肥化容器の設置数	1,714基	2,300基	☆			31基	A	たい肥化容器等を設置する際に補助金を交付した	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
3 学校で発生した生ごみ堆肥の利用は学校教育田や花壇などで利用するほか、場合によっては、市内の農家又は公共施設との連携によって堆肥の活用を図ります。				☆				B	未着手	4	関係部署と調整を図ります
② 廃食油の有効利用を促進します。											
1 近隣市町との連携により、学校給食で発生する廃食油の利用について継続して行います。				☆				B	未着手	4	学校給食の廃油は100%リサイクルされています
◆ 2 家庭から発生する廃食油の回収方法について検討します。				☆				B	未着手	4	関係部署と調整を図ります
③ 再生素材の分別を推進します。											
1 分別収集におけるルールの徹底に努めます。				☆				A	分別収集の徹底するよう啓発を行った	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
◆ 2 現在の分別回収体制を維持し、資源ごみの回収を積極的に行います。	ごみのリサイクル率	16.2%	17.2%	☆			14.70%	A	分別収集の徹底	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
3 「容器包装リサイクル法（容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律）」「家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）」などに基づく分別排出、分別収集、再商品化に関する周知を図るとともに、より効果的、効率的な収集体制を検討します。				☆				A	家庭ごみの分け方出し方23年度版の全戸配布を実施し分別、リサイクル等の周知を行った	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
◆ 4 再資源化集団回収の活動及び支援をします。	集団回収登録団体数	247団体	260団体	☆			251団体	A	再資源化事業推進奨励金を交付した	1	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 ↓)	目 標 値 (H 3 ↓)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
2 「資源有効利用促進法（資源の有効な利用の促進に関する法律）」について、特に製品の省資源化、長寿命化などによる廃棄物の発生抑制、部品などの再使用、副産物の発生抑制とリサイクル、製品の回収・リサイクルの義務づけについて周知徹底を図ります。				☆				A	市民、事業者、公共施設に分別・リサイクルの徹底	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
6 「食品リサイクル法（食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律）」について、特に食品残渣の発生抑制やリサイクルなどについての周知を図ります。				☆				A	事業者に対してリサイクルの説明	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
<b>施策の柱4-2 廃棄物の適切な処理の推進</b>											
<b>施策の方向4-2-1 3Rを推進するために</b>											
① 3Rの普及・啓発に努めます。											
◆ 1 3Rの考えについて、広報やホームページなどを用い、指導及び啓発に努めます。				☆				A	彩生館だより、市ホームページに情報を掲載するほか出前授業で啓発	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
2 和泉市ごみ減量等推進員（リサイクリーン）制度を活用し、3Rについての指導を行います。	和泉市ごみ減量等推進員（リサイクリーン）数	217人	220人	☆			231人	A	研修会、施設視察の実施を行った	2	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
<b>施策の方向4-2-2 環境負荷の少ないごみ処理を推進するために</b>											
① 環境に負荷の少ない清掃工場を目指します。											
1 環境に負荷の少ない適切な維持管理を行います。				☆				A	焼却施設、排ガス設備等に最新技術を導入し、環境保全を図っています	1	環境保全を努めます
② 正しい分別による処理場の長期使用に努めます。											
◆ 1 ごみの減量と正しい分別の周知徹底を図ります。				☆				A	家庭ごみの分け方出し方23年度版の全戸配布を実施し分別、リサイクル等の周知を行った	1	ごみ減量とリサイクルの推進が図れた
③ ごみ処理への適切な費用負担に努めます。											
1 周辺市町との連携を取りながら、ごみゼロへの取組の一層の推進と排出者責任に基づく公平な費用負担を今後も行います。				☆				A	泉大津市、高石市と連携を図り、分別収集及び資源化の取り組みを行った	2	分別、資源化について事業内容を検討する必要がある
④ 産業廃棄物の適切な処理を促進します。											
1 「廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）」に基づき、廃棄物処理業者が適正な処理を推進するよう、指導します。				☆				A	処理業者の適正な指導を行っています	2	情報収集と監視を強化する必要がある
2 不法投棄されやすい場所の定期的パトロールや防止看板設置、キャンペーン実施によって、不法投棄の防止に努めます。	不法投棄のパトロール回数	34回/年	48回/年	☆			27回/年	A	不法投棄防止パトロールや看板設置により啓発及び防止対策を実施した	2	不法投棄が減少しているので継続していく
3 不法投棄が発生した場合には、警察などと連携を取り、投棄者の究明と迅速な原状回復を図ります。				☆				A	投棄ごみの内容調査の実施と所有者が判明した場合に警察と連携します	2	不法投棄が減少しているため継続していく

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-1 まちの環境美化を推進するために</b>											
① ポイ捨てしないマナーの向上に努めます。											
1 ポイ捨て禁止を啓発する看板設置、広報による啓発などを実施します。	住んでいる地域がごみの無いきれいな街だと感じている市民の割合	58.1%	62%	☆			57.30%	A	看板設置(46枚)、広報による啓発を行った	2	マナー向上のため新たな啓発方法を検討する必要がある
2 犬のふんの始末のマナーについて啓発します。				☆				A	看板設置(59枚)によるマナーを啓発した	2	飼い犬登録と飼い方の指導を行う健康課と調整を図ります。
3 地域の人々の清掃活動への参加や環境パトロールの展開を検討します。	地域清掃活動の実施回数	375回/年	400回/年	☆			413回/年	A	地域清掃実施	1	継続によりきれいな街並みを維持していく



# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・未 実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成 できた/3一部 達成できた/4 実績なし
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために</b>											
③ いろいろな生活体験の機会を拡充します。											
1 学校教育田や農家の協力により、農業体験の機会を設けます。	小学生を対象とした農業体験の実施	学校教育田 3校/年 野菜バリアリ: 3校/年	増加	☆			学校教育田: 4校/年 野菜バリアリ: 3校/年	A	学校教育田: 水田の生育観察、病害虫、歴 史に関する課題 野菜バリアリ: さつまいも、大豆、大根の 栽培、給食への利用	1	和泉市の小学生に対し、農業体験を実施すること で、農業の大切さ、豊かな自然に感謝する心を 育てた。今後も市内の小中学校に広く周知し、和 泉市の農業と食に対する理解を深めるよう取り 組む。
<b>施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進</b>											
<b>施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために</b>											
① 環境情報の収集と提供を行います。											
5 「商工まつり」などのイベントを活用した、普及・啓発活動を実施します。	イベント時のブース設置 (商工観光担当)	1回/年	1回/年	☆			第24回農林業祭の実施 (約104,000人集場)	A	和泉市の農林産物の即売会 や加工品の販売、和泉ス イーツの販売等	2	今後も継続して行い、和泉市の農産 物の普及啓発に努める。
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用</b>											
<b>施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために</b>											
⑤ 生産・流通におけるエネルギー消費の抑制に努めます。											
◆ 1 フード・マイルージを考慮し、農作物の季節に応じた露地栽培や地元での販売購入(地産地消)を奨励します。				☆			未実施	B	未実施	4	
<b>施策の方向2-1-2 新エネルギーの利用を推進するために</b>											
① 新エネルギーの利用を推進します。											
4 バイオマスエネルギーの活用について検討します。	森林経営計画の認定 (間伐材搬出量の増加)	データ無し (森林経営計画制 度はH24年度より施 行)	複数件実施	☆			未実施 (森林経営計画制度はH24年度 より施行のため)	B	未実施 (森林経営計画制度はH24年度よ り施行のため)	4	H24年度、和泉市父島町農産物産地にて経営計 画を策定し、間伐材の搬出を行えるよう進めて いる。間伐材の一部をチップ等の木質燃料に加 工し、ストーブ等の燃料として活用できるよう 取り組む予定
<b>施策の柱2-3 CO<sub>2</sub>吸収源の確保</b>											
<b>施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために</b>											
① 森林空間の保全・育成に努めます。											
2 保安林制度をはじめとする保全制度を活用した森林の公益的な機能の維持増進を図るとともに、森林保全事業を展開します。	大阪府との連携による治山事業の実施及び市内保安林地域の拡大	保安林面積468ha	増加	☆			林道宮の谷線奥における治山ダム及び作 業道の作設工事及び林道大堀線奥におけ る作業道の作設工事の実施に係る地権者 調査及び用地立会い、保安林地域の拡大 に係る現地調査など	A	①林道宮の谷線: 治山ダム1基、作業道62m 作設 ②林道大堀線: 作業道60m作設 保安林現地調査 (H24年度に大阪府知事より 指定を受けるためH23年度は実績無し)	1	H24年度も林道宮の谷線奥の作業道 作設工事を継続して行うため、治山 事業要望調査票を提出済。 また、継続して保安林地域の拡大を 図る。
3 急傾斜地崩落危険区域、砂防指定区域における自然災害を防止するため、森林の保全・育成・整備を推進します。	森林ボランティア活動の奨励	不明	継続	☆			新たな森林ボランティアの創出 と市域の森林ボランティア活動 の支援等	A	①森林ボランティア活動: 計5回 8名参加 ②和泉の森の森づくり活動: 計11回 総計186名参加	1	H24年度以降も継続して行う
4 「和泉市森林整備計画」に基づき、健全な森林の育成に努めるとともに、枯死などが見られるなど森林の質が低下している区域については、森林荒廃の防止と育成に努めます。	森林ボランティア活動の奨励	不明	継続	☆			2-3-3と同様	A	2-3-3と同様	1	H24年度以降も継続して行う
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる</b>											
<b>施策の柱3-1 生物多様性の確保</b>											
<b>施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために</b>											
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。											
◆ 1 「生物多様性基本法」に基づき、自然と人の共生を目指した取組を進め、地域の自然環境の保全と質の向上に努めます。				☆			未実施	B	未実施	4	
2 学校や公園、河川、ため池などにおいて生きものの生育・生息空間を積極的に創出することにより、生物の多様性の維持・回復に努めます。				☆			未実施	B	未実施	4	
② 外来生物の対策と適正な管理を行います。											
◆ 2 特定外来生物について、市民団体などと協力し対策を検討します。	特定外来生物であるアライグマの駆除	61頭	150頭	☆			108頭	A	和泉市有青鳥獣対策協議会による アライグマ捕獲檻10基購入による 貸し出し量の追加	1	今後も継続的にして行い、特定 外来生物の駆除に努める

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>施策の柱3-2 自然の保全と人との共生</b>											
<b>施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために</b>											
① 森林空間の保全・育成に努めます。(再掲 2-3-1)											
2	保安林制度をはじめとする保全制度を活用した森林の公益的な機能の維持増進を図るとともに、森林保全事業を展開します。	大阪府との連携による治山事業の実施及び市内保安林地域の拡大 <small>保安林面積468ha</small>	増加	☆			林道宮の谷線奥における治山ダム及び作業道の作設工事及び林道大増線奥における作業道の作設工事の実施に係る地権者調査及び現地立会い、保安林地域の拡大に係る現地調査など	A	①林道宮の谷線：治山ダム1基、作業道62m作設 ②林道大増線：作業道60m作設 保安林現地調査（H24年度に大阪府知事より指定を受けるためH23年度は実施無し）	1	H24年度も林道宮の谷線奥の作業道作設工事を継続して行うため、治山事業重要調査票を提出済。また、継続して保安林地域の拡大を図る。
3	急傾斜地崩落危険区域、砂防指定区域における自然災害を防止するため、森林の保全・育成・整備を推進します。	森林ボランティア活動の奨励	不明	継続	☆		森林ボランティア養成講座の実施 和泉の國の森づくり活動の実施	A	①森林ボランティア活動：計5回 8名参加 ②和泉の國の森づくり活動：計11回 総計188名参加	1	H24年度以降も継続して行う
4	「和泉市森林整備計画」に基づき、健全な森林の育成に努めるとともに、枯死などが見られるなど森林の質が低下している区域については、森林荒廃の防止と育成に努めます。	森林ボランティア活動の奨励	不明	継続	☆		2-3-3と同様	A	2-3-3と同様	1	H24年度以降も継続して行う
② 渓谷の環境の保全に努めます。											
1	父奥川、東横尾川、横尾川の源流部の渓谷は、自然災害の防止を図るとともに、地域特有の環境として森林の保全・水系の保全に努めます。	笑顔の森づくり (道路河川課)			☆		未実施	B	未実施	4	H24年度より実施
③ 森との交流を促進します。											
1	豊かな自然が残る金剛生駒紀泉国定公園内にレクリエーション施設として整備された「ダイヤモンドトレール」や「近畿自然歩道」を適切に維持管理することにより市民の利用促進を図るとともに自然と親しむ拠点の整備を府と協力して促進します。				☆		未実施	B	未実施	4	
④ 森林ボランティアを育成します。											
1	土地所有者及び森林組合との連携により、市民等による森林育成活動への取組を進めます。	森林ボランティア数	92人	150人	☆		和泉の國の森づくり活動 参加者：83名登録 森林ボランティア養成講座 参加者：8名	A	森林ボランティア活動 実務活動：11回（総計188名参加） 自主活動：9回（総計83名） 森林ボランティア養成講座：計5回	1	森林ボランティア養成講座を継続して実施し、新たな森林ボランティアを創出しつつ、市内森林ボランティアと協力して市域の森林整備を進める。
2	放置された人工林や竹林などで荒廃した森林を企業が広葉樹化する府の「アドプトフォレスト制度」を活かし、企業に参画を要請したり、候補地を選定するなど支援を行います。	和泉市域におけるアドプトフォレスト制度の支援	無	1箇所以上で実施	☆		未実施	B	未実施	4	H24年度、府、民間企業と協議中
<b>施策の方向3-2-2 農地を保全し有効に活用するために</b>											
① 環境にやさしい農林業基盤整備を推進します。											
1	林道整備や水路整備などの農林業基盤整備においては、環境への負荷を最小限にとどめます。				☆		未実施	B	未実施	4	
2	地域循環型社会の形成を目指し、みどりのツーリズムの振興を図りながら、農村と都市との物質交流や人的交流などの活性化を図ります。	農業振興事業の展開	<small>米づくり体験 米粉パン教室 森林体験学習教室 和泉産地産直担当 計4事業展開</small>	増加	☆		みかんの花咲く道道を歩きますか (1回) ファームステイ和泉モデル事業 (2回)	A	みかんの花：70名 ファームステイ：計22名	2	農業に興味のある都市住民にターゲットに、農業体験事業を展開し、和泉市域の農業への理解を深める。
② 遊休農地の活用を促進します。											
1	遊休農地を市民農園や観光型農園をはじめとする付加価値の高い農地として利用する場合のあり方について検討します。	和泉市遊休農地対策協議会による遊休農地の解消			☆		国・補助金を活用した遊休農地の解消・・・227a 市・補助金を活用した遊休農地の解消・・・14a	A	善正団地の未利用農地を活用し、ビニールハウスの設置や土壌改良を行った。	1	遊休農地となる農地はそうなる原因として、作業道がない、水の便が悪いなどがあり、それらを解消すべくハード面の支援等を行い、遊休農地の解消につなげていくのが今後の課題である。
2	農産物の直販所の設置や日曜市の開催、直販ルートの開拓などによって、市民に安全で環境負荷の少ない地元農産物の販売をするなど、特色ある農業を展開します。				☆		未実施	B	未実施	4	
③ 農地の保全に努めます。											
1	市街化区域内の農地として、生産緑地地区の適正な管理について啓発します。				☆		未実施	B	未実施	4	
◆ 2	市街化調整区域内においては、農地を多面的な機能を有する自然系空間としてとらえ、積極的な保全に努めます。				☆		未実施	B	未実施	4	
④ ため池周りの水辺環境の整備に努めます。											
◆ 1	ため池を活用した水辺環境の整備を進めます。	ため池を訪れた人たちに快適と安全を提供すべく処置を施されたため池の数	13箇所	24箇所	☆		0箇所	B	未実施	4	



# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・未 実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた/ 2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
2 自然共生型のため池整備を目指します。				☆			未実施	B	未実施	4	
⑤ 身近な農業体験を推進します。											
1 市民農園や観光型農園の積極的利用を呼びかけます。	市民農地の利用者数	700人	増加	☆			687人	A	広報、ホームページ上にて利用者の募集をしている。	1	みどりのツーリズム事業として、今後も継続する。
◆ 2 和泉市農業体験交流施設「いずみふれあい農の里」を活用し、みどりのツーリズムの一環として、農業体験プログラムの提供を行います。	農業イベントへの参加者数	36,199人	増加	☆			41,150人	A	農産物の収穫体験の自主事業及びお米の学校等の食育活動を取組んだ。	1	今後も継続的に取り組み、都市住民と地域住民とのふれあいと交流を目指す。
<b>施策の方向3-2-3 水辺の環境を守り育てるために</b>											
① 川の水の確保に努めます。											
1 源流部の森林や上・中流域の農地を保全・育成し、流水の確保に努めます。	森林経営計画の認定 保安林面積の拡大 森林ボランティア活動の奨励	未実施または不明	増加	☆			森林経営計画：未実施 保安林面積：468ha 市内ボランティア活動：計11回	A	森林経営計画策定予定地や保安林地域の拡大に係る現地調査、森林ボランティアの支援など	1	上・中流域における森林整備を行い、市域の森林の保全と維持増進に努める。
<b>施策の方向3-2-4 健全な水循環を確保するために</b>											
① 水源の森の保全と育成に努めます。											
1 森林の保全及び育成を連携して進めます。	父鬼地区森林管理委員会の開催	未実施	2~3回/年	☆			3回実施	A	父鬼町会、市内製材所8社、大阪府森林組合、府、市の会館で、森林整備事業や池山事業、その他木材利用に関して協議	1	H24年度以降も継続して行い、市域の森林の保全と維持増進に努める。
2 川に水を取り戻すために水源涵養林の指定、森林を保安林に指定するなど推進するとともに、市民意識の醸成を図り、トラスト活動による水源環境の保全の実現に努めます。	和泉市森林整備計画の策定に係る市域森林のゾーニング図の作成	未実施	未定	☆			和泉市域の森林を大阪地域森林計画及び林野庁による指導や地元との協議に基づき、大きく3種類に分類	A	水源涵養機能維持増進森林、山地災害防止機能/土壌保全機能維持増進森林、保健機能維持増進森林の3地区に分類したゾーニング図を作成	1	市町村森林整備計画は5か年ごとに見直しを行うため、市町村森林整備計画修正時に、森林状況を見てゾーニング図の修正を行う。
③ 雨水がしみ込む農地の保全に努めます。											
1 地下水の涵養を促進するため、農地の保全、耕作放棄防止のための土地利用規制や支援策を検討するとともに、森林の保全に努めます。				☆			未実施	B	未実施	4	
2 地下水を涵養するために休耕田の湛水化を行います。				☆			未実施	B	未実施	4	
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進</b>											
<b>施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために</b>											
① 生ごみの堆肥化を促進します。											
3 学校で発生した生ごみ堆肥の利用は学校教育田や花壇などで利用するほか、場合によっては、市内の農家又は公共施設との連携によって堆肥の活用を図ります。				☆			未実施	B	未実施	4	
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
1 農業で排出される廃棄物は、個別に焼却せず、農協に集めて正しく処理をするよう指導します。				☆			未実施	B	未実施	4	
4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。				☆			未実施	B	未実施	4	
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために</b>											
② 事業活動における環境負荷の削減などへの啓発に努めます。											
2 農業散布や施肥、家畜のし尿など農業・畜産活動による環境への負荷を低減するよう啓発します。	エコ農産物生産面積	5391.6a	増加	☆			5137.5a	A	農薬や化学肥料の使用を抑えるエコ農産物を推奨し、環境に与える影響を低くした。	1	エコ農産物の生産には手間がかかるため、エコ農家を増加させる啓発活動より充実する必要がある。
④ 大気質の浄化に努めます。											
1 森林の保全・回復や緑化の推進により、大気質の浄化に努めます。(3-2-1 5-2-2参照)				☆							

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱3-2 自然の保全と人の共生</b>											
<b>施策の方向3-2-2 農地を保全し有効に活用するために</b>											
③ 農地の保全に努めます。											
1 市街化区域内の農地として、生産緑地地区の適正な管理について啓発します。				☆				A	航空写真等で確認を行うほか、適正に管理されていない場合は、所有者に対して適宜指導を行っている。	2	平成24年度、生産緑地地区に指定されている全ての農地について、所有者に対する適正な管理のお願いと、現地調査を行っている。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために</b>											
② 魅力ある都市景観の形成を推進します。											
1 大規模建築物や工作物などに対する地域の景観との調和のための誘導や、屋外広告物に対する規制、緑化の推進など、魅力ある都市景観の形成に向けた方針策定などの取組を進めます。						☆		B	未実施	4	関連制度や他市取組状況等の調査、研究を進め、具体的な取組につなげる。
<b>施策の方向5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために</b>											
① 計画的な土地利用の規制誘導を進めます。											
1 生活と産業の均衡のとれた健全な都市の発展のための土地利用を形成します。				☆				A	適宜、都市計画決定等を行っている。	2	必要に応じて、関係部署と連携を図り、市総合計画や都市計画マスタープラン等の上位計画に即した都市計画決定及び変更手続を行う。
2 和泉山脈と根尾川、松尾川の2つの河川、信太山丘陵など本市固有の地勢を活かした良好な都市環境形成のための土地利用の規制誘導を行います。				☆				B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。
② 環境に配慮した土地利用を促進します。											
1 地域住民と行政が一体となって環境に配慮したまちづくりや土地利用を推進します。				☆				A	適宜、情報提供および都市計画決定等を行っている。	2	社会経済状況の変化に伴い土地利用の状況等に変化が起きていることから、地域特性に応じた土地利用につながるよう、都市計画提案制度の周知、活用に努める。

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために</b>											
① 緑のまちなみづくりを推進します。											
2 駅、商店街、公共施設の周辺など拠点性の高い地域において、花と緑による修景を行い、まちの顔づくりを行います。					☆		H23	B		4	今後整備する和泉府中駅前広場等において植栽工事を実施するなど緑化を推進する。

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>基本目標3 生きものがいっばいで自然を大切にすまちをつくる</b>											
施策の柱3-1 生物多様性の確保											
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために											
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。											
◆ 6 開発行為などの際には、生物多様性の保全について適切な配慮をするよう事業主に指導又は助言を行います。											
				☆				B	事例なし	4	担当課である環境保全課と連携しながら、事案に応じて、適切な対応を図っていきます。
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進											
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために											
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
3 「建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化などに関する法律)」に基づき、特定建設資材であるコンクリート・アスファルト・木材について、分別解体・リサイクルが規定されており、一定規模以上の解体工事・新築増築工事・土木工事などに事前届出が義務付けられていることから、事前届出及び適正処理についての周知を図ります。											
				☆				A	建設リサイクルの届出及び府下一斉パトロールの実施	2	今後も事前届出及び適正処理についての周知を図っていきます。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用</b>											
<b>施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために</b>											
② 自然の光や風の有効利用に努めます。											
1 公共施設における屋上緑化などの自然を活かした省エネ建築物の導入について検討します。				☆				A	太陽光パネルを設置し省エネに努めました。	1	出来る限り設置に努めて行きたいと思います。
2 市営住宅における採光や採風を工夫する環境に配慮した住宅の供給に努めます。				☆				B	該当物件が有りません。	4	該当物件があれば、対応して行きたいと思います。
③ 水の有効利用に努めます。											
2 雨水を有効に利用するため、雨水貯留タンク設置などの普及・啓発について検討します。				☆				A	雨水貯留槽を設置し雨水利用施設を設置しました。	1	出来る限り設置に努めて行きたいと思います。
<b>施策の柱2-3 CO<sub>2</sub>吸収源の確保</b>											
<b>施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために</b>											
① 森林空間の保全・育成に努めます。											
5 熱帯雨林の保全のため、建設工事におけるラワン型桟合板の使用削減に努めます。				☆				B	針葉樹・広葉樹複合桟合板使用	2	出来る限り設置に努めて行きたいと思います。
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる</b>											
<b>施策の柱3-2 自然の保全と人との共生</b>											
<b>施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために</b>											
① 森林空間の保全・育成に努めます。(再掲 2-3-1)											
5 熱帯雨林の保全のため、建設工事におけるラワン型桟合板の使用削減に努めます。				☆				B	針葉樹・広葉樹複合桟合板使用	2	出来る限り設置に努めて行きたいと思います。
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちなちをつくる</b>											
<b>施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進</b>											
<b>施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために</b>											
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。				☆				A	解体工事におけるコンクリート及び鉄くずは、再資源化施設へ持込むように指導しております。	1	今後も同様に努めて行きます。
5 リサイクル建材の利用普及に努めます。				☆				A	砕石については、再生砕石の利用しました。	1	今後も同様に努めて行きます。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために</b>											
③ いろいろな生活体験の機会を拡充します。											
◆ 2 「いずみいのちの森事業」の一環として、各学校の児童たちにドングリから樹木の苗を育成してもらい、それを植樹し森を再生する取組など環境学習の場を提供します。	植栽した本数(累計)	-	18万本	☆			1.1万本	A	鶴山台北・信太・いぶき野・緑ヶ丘・光明台北の5小学校にドングリを育成してもらった。	2	夏休み期間中は児童が登校しないため、職員への負担が大きい。育成方法を見直す必要がある。
<b>施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進</b>											
<b>施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために</b>											
① 環境情報の収集と提供を行います。											
5 「商工まつり」などのイベントを活用した、普及・啓発活動を実施します。	イベント時のブース設置	1回/年	1回/年	☆			1回/年	A	「商工まつり」に併せて「都市緑化フェア」を開催し、「いずみいのちの森事業」のパネルの展示等によるPRを行った。	1	「商工まつり」だけでなく、他のイベントへの参加も検討していく。
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱2-3 CO<sub>2</sub>吸収源の確保</b>											
<b>施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために</b>											
① 森林空間の保全・育成に努めます。											
◆ 1 「いずみいのちの森事業」を推進し、植樹により森の再生を図ります。	植栽した本数(累計)	-	18万本	☆			1.1万本	A	3/3にくすのき公園で第2回植樹祭を開催するなど年11回植樹を行い、平成23年度中では7,292本植えた。	2	現在のペースでは目標を達成できないため、さらなる手法を検討していく必要がある。
② 市街地における植樹を推進します。											
◆ 1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。	街路樹の植栽延長	54.5km	延伸	☆				A	新規開設公園において樹木の植栽を推進しているほか、「いずみいのちの森事業」によって公園内での植樹事業を実施した。	1	公園利用者や地域住民に配慮し、維持管理を考慮した樹木の植栽に努める。
2 宅地における生け垣の設置や植栽を推奨し、身近な緑化を促進します。								A	和泉市宅地開発条例で共同住宅等に緑化義務を課しているほか、生垣緑化を支援する制度も設けている。また、苗木配布事業で宅地等の身近な場所に469本植えた。	2	生垣緑化に関しては制度の利用が少ない状況にあるので、その活用・運用方法に関して検討の必要がある。
3 工場や事業所の周辺など民有地における植栽を推奨し、緑化を促進します。								A	大阪府自然環境保全条例に基づき緑化を指導している。	2	現行の義務の他、工場や事業所に対して緑化を支援する制度を検討していく。
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなをつくる</b>											
<b>施策の柱3-1 生物多様性の確保</b>											
<b>施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために</b>											
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。											
2 学校や公園、河川、ため池などにおいて生きものの生育・生息空間を積極的に創出することにより、生物の多様性の維持・回復に努めます。								B	未実施	4	ビオトープ等生物の生育空間の創出について検討の必要がある。
<b>施策の柱3-2 自然の保全と人との共生</b>											
<b>施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために</b>											
① 森林空間の保全・育成に努めます。(再掲 2-3-1)											
◆ 1 「いずみいのちの森事業」を推進し、植樹により森の再生を図ります。	植栽した本数(累計)	-	18万本	☆			1.1万本	A	3/3にくすのき公園で第2回植樹祭を開催するなど年11回植樹を行い、平成23年度中では7,292本植えた。	2	現在のペースでは目標を達成できないため、さらなる手法を検討していく必要がある。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
③ 森との交流を促進します。 豊かな自然が残る金剛生駒紀泉国定公園内にレクリエーション施設として整備された「ダイヤモンドトレール」や「近畿自然歩道」を適切に維持管理することにより市民の利用促進を図るとともに自然と親しむ拠点の整備を府と協力して促進します。				☆				A	自然公園内の清掃・草刈等を行い、快適に利用できるよう努めた。	1	施福寺境内にバイオトイレを設置する等、今後も適宜整備を行う。
◆ 2 トリヴェール和泉に隣接し、市街地からも近い松尾寺公園を豊かな自然との交流の場として整備を進めます。	松尾寺公園の整備率	13.4%	33.5%	☆			13.36%	A	23年度は公園整備はせず、用地買収を行った。また、桃山学院大学と共同で園内の竹林整備を行った。	1	公園のメインの入り口や駐車上等の整備を検討している。
<b>施策の方向3-2-4 健全な水循環を確保するために</b>											
② 緑被率の向上により市域の雨水涵養を促進します。											
◆ 1 市民等による緑化を推進し、また公園・緑地における草地・樹林地などの保全・確保に努め市域の緑被率の向上を図ります。				☆				A	緑化樹等の支給や、苗木等の配布、「いずみいのちの森事業」による植樹祭により緑被率の向上に努めた。	2	さらなる緑被率の向上を目指し、緑化促進制度を検討する必要がある。
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進</b>											
<b>施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために</b>											
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。				☆				A	建設資材リサイクル法等に基づき、再資源化及び再生資材の利用を徹底した。	1	今後も引き続き、再資源化及び再生資材の利用の促進に努める。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために</b>											
④ 大気質の浄化に努めます。											
1 森林の保全・回復や緑化の推進により、大気質の浄化に努めます。(3-2-1 5-2-2参照)				☆				A	苗木の配布や建築物への緑化の促進、またイベントでの啓発パネルの設置により、大気質の浄化に努めた。	1	今後も大気質の浄化に努めるような施策を行う。
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために</b>											
① 緑のまちなみづくりを推進します。											
1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。(再掲 2-3-1-②-1)	街路樹の植栽延長	54.5km	延伸	☆				A	新規開設公園において樹木の植栽を推進しているほか、「いずみいのちの森事業」によって公園内での植樹事業を実施した。	1	公園利用者や地域住民に配慮し、維持管理を考慮した樹木の植栽に努める。
3 公園・緑地を適切に維持管理し、快適性・安全性を確保するとともにバリアフリー化を促進し、誰もが安心して利用できるような緑地空間づくりに努めます。				☆				A	光明池緑地に多目的便所を設置する等の整備のほか、日常的に遊具や植栽等を点検し、適切な維持管理に努めている。	1	引き続き適切な維持管理に努める上で、バリアフリー化の促進に心がける。
4 緑の基本計画に基づき、緑の拠点づくりと拠点を結ぶ緑のネットワークの形成を図ります。	市民一人当たりの公園面積	7.3m2	10.0m2	☆			7.4m2	A	くすのき公園等4箇所の都市公園を新規開設した。	2	今後も計画的に公園を整備・開設し、目標値の達成を図る。
② 身近な緑化を推進します。											
1 公共施設をはじめ、自治会館や集会所、公道に面した宅地などの公開性の高い場所において、市民グループによる緑化を支援し、花と緑のまちづくりを促進します。	花壇の市民開放の箇所数	29回	30回以上/年	☆			28回	A	前年度に引き続き、樹木・草花等を緑化グループに支給し、緑化を促進している。	2	今後も支援を継続し、緑化の促進に努める。
2 宅地における生け垣の設置や植栽を推奨し、身近な緑化を促進します。(再掲 2-3-1-②-2)				☆				A	和泉市宅地開発条例で共同住宅等に緑化義務を課すことで促進しているほか、生垣緑化に関してその一部を市で負担することで緑化を促している。	2	生垣緑化に関しては制度の利用が少ない状況にあるので、その活用・運用方法に関して検討の必要がある。
3 工場や事業所の周辺など民有地における植栽を推奨し、緑化を促進します。(再掲 2-3-1-②-3)				☆				A	大阪府自然環境保全条例に基づき緑化を指導している。	1	現行の義務の他、工場や事業所に対して緑化を支援する制度を検討していく。

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期			【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	
④ 市民の緑意識の向上に努めます。												
1 「いずみいのちの森事業」「桜の里親事業」を通じて、市民参加による植樹活動を展開し、みどりあふれる都市環境を確保します。	桜の里親事業の植栽数	67本	167本			☆	85本	A	2/19に黒鳥山公園で植樹祭を行い、8本の桜を植えた。	2	今後も桜の里親事業を継続するとともに、「いずみいのちの森事業」においてさらに市民の植樹活動への参加を促進するよう検討する。	
2 緑に関する情報提供の充実、キャンペーンや市民参加型のイベントなどによる啓発活動、緑づくりに貢献した市民顕彰の実施など、市民の緑に対する意識の向上に努めます。	緑に関する市民体験型学習会の参加者数	1,507人/年	1,500人以上/年	☆			1,120人/年	A	年間11教室（開催回数37回）を行い、1,120名に参加して頂き、みどりに関する環境学習や緑づくりに努めたほか、「都市緑化フェア」等で緑化の啓発活動を行った。	3	新しい学習会を増やしていくほか、各種緑化の支援制度を通じた顕彰の実施も検討する。	
3 家庭や学校、校外学習、生涯学習などにおいて、子どもから大人まで参加できる緑に関する環境学習の推進に努めます。	緑に関する市民体験型学習会の開催数	32回/年	30回以上/年	☆			37回/年	A	年間11教室（開催回数37回）を行い、1,120名に参加して頂き、みどりに関する環境学習や緑づくりに努めた。また、タケノコ掘り体験等の体験学習の機会も設けている。	2	市民体験型学習会の内容を変更したりして、マンネリ化しないようにし、新しい学習会も増やしていく。	
<b>施策の方向5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために</b>												
③ 災害に強いまちづくりを進めます。												
1 避難路、避難地、防災公園、緩衝緑地などのネットワークとオープンスペースの確保を行います。						☆		A	防災公園として、つくしの公園を平成24年度の開設に向けて整備している。	2	規模の大きい公園について、防災機能を有する公園として整備することも検討する。	
2 安全なまちづくりに配慮して、まちかど広場、ポケットパーク、生産緑地などの小規模緑地空間を機動的に確保します。						☆		B	未実施	4	地域の事情も考慮しながら、小規模緑地空間の確保について検討の必要がある。	
3 「いずみいのちの森事業」を推進し、森を再生することにより、防火、防風、法面保護などの防災力を高めます。	植栽した本数（累計）	-	18万本	☆			1.1万本	B	年11回植樹を行い、7,292本植えた。	2	防災により効果的な場所や植樹手法について検討する必要がある。	



# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等		
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手/ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>										
<b>施策の柱2-2 環境にやさしい交通手段による移動の推進</b>										
<b>施策の方向2-2-1 車をかしく使うために</b>										
① 公共交通の利便性の向上に努めます。										
◆ 1 「和泉市地域公共交通総合連携計画」に基づき、使いやすい公共交通ネットワークの形成を図り、公共交通へのシフトを進めます。				☆			A	和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会を年度中4回開催した。	1	コミュニティバスのルート・運賃体系の再検討を進めていく。
2 高齢者や障害者にも配慮した低床式バスの導入を図ります。				☆			C	現在使用しているコミュニティバス用車両は全て低床式である。	1	
② 歩いて暮らせるまちづくりを進めます。										
1 歩行者や自転車が安全に利用できるよう、歩道設置などの道路整備を進めます。				☆			A	「グリーン」帯を設置した	2	用地確保等の検討が必要。
◆ 2 道路のバリアフリー化、植栽など、歩行者・自転車が快適に移動できる空間整備を行います。				☆			A	国道480号・和泉中央線交差点	2	バリアフリー基本構想に基づく整備が必要
3 鉄道駅周辺に駐輪場の整備を推進します。	公営駐輪場の収容台数	4,250台	5,000台	☆			A	和泉府中駅東西駐輪場の設計・計画を実施した。	3	平成25年春頃に、和泉府中駅の東西に駐輪場が完成する予定である。
③ 自動車の適正な利用を促進します。										
1 府が実施している「ノーマイカーデー」(毎月20日)を推進します。				☆			A	毎月20日に、市役所庁内でアナウンスを行っている。	1	今後も継続する。
2 市及びバス会社、周辺市町との連携による自主的なノーマイカー制度の導入を検討します。						☆	B	未実施	4	要検討
◆ 3 環境にやさしい交通手段の選択について啓発し、自家用車から他の移動手段への転換を促進します。				☆			A	広報等を通じて、コミュニティバスの積極利用を啓発した。	2	引き続き広報等を通じて利用啓発を実施する必要がある。
◆ 4 自動車のアイドリングストップなど、エコドライブの実施を促進します。				☆			B	未実施	4	要検討
6 生活道路への通過交通の流入や違法駐車による渋滞の防止など、適切な道路交通管理を関係機関に働きかけます。				☆			A	地域住民・警察と共同で違法駐車防止のパトロールを実施した。	2	今後対策必要箇所があれば警察と協議していく。
<b>施策の柱2-3 CO<sub>2</sub>吸収源の確保</b>										
<b>施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために</b>										
② 市街地における植樹を推進します。										
◆ 1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。	街路樹の植栽延長	54.5km	延伸	☆			B	H23 該当路線なし	4	新設・改良道路事業の予定は不透明
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる</b>										
<b>施策の柱3-2 自然の保全と人との共生</b>										
<b>施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために</b>										
② 渓谷の環境の保全に努めます。										
1 父鬼川、東横尾川、横尾川の源流部の渓谷は、自然災害の防止を図るとともに、地域特有の環境として森林の保全・水系の保全に努めます。				☆				(担当外：農林課回答分)		
<b>施策の方向3-2-3 水辺の環境を守り育てるために</b>										
① 川の水の確保に努めます。										
1 源流部の森林や上・中流域の農地を保全・育成し、流水の確保に努めます。				☆				(担当外：農林課回答分)		

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
② 河畔林の保全と育成に努めます。											
1 河川管理者と調整を図りながら、河畔林の保全に努め、川底に堆積した土砂は、流水を阻害しない範囲で残すようにして川原の植生や河畔林を大切にします。				☆				A	河川の安全が最優先であるが、自然を残すことも考慮しつつ日常の維持管理業務に対応した。	3	河川の安全を最優先に考え整備及び維持管理に努めるが、今後も引き続き自然を残すことも考慮する。
③ 川辺の緑地帯の保全と育成に努めます。											
1 河川管理者と調整を図りながら、川辺、河畔林、周辺農地、周辺公園などの緑地をつないで、水と緑の自然系空間として一体的な保全・育成を図ります。				☆				A	ふるさとの川整備事業において整備された松尾川周辺の良好な河川環境の維持管理を行った。	2	今後も引き続き松尾川周辺の良好な河川環境の保全に努める。
④ アドプトプログラムによる市民等・事業者による河川の維持管理を促進します。											
1 府の「アドプト・リバー・プログラム」を活用し、市民等・事業者が主体となった河川の維持管理を促進します。				☆				A	市内9地区（南横山・内田・芦部・和気・井ノロ・いぶき野・川中・今福A団地・小田町）にて、ボランティアによる清掃活動（地元団体・町会）を実施した。	2	地域ぐるみで、ごみを捨てられない環境づくりの一環として有効であり、今後も清掃活動して頂ける地域の拡大を支援していく。
⑤ 川辺空間の整備に努めます。											
◆ 1 「和泉市水辺環境整備計画」に基づいて、川辺の環境を守り育てる施策を推進します。				☆				A	市管理河川の改修を進めた。	2	今後も引き続き整備を進める。
<b>施策の方向3-2-4 健全な水循環を確保するために</b>											
① 水源の森の保全と育成に努めます。											
1 森林の保全及び育成を連携して進めます。				☆					(担当外：農林課回答分)		
2 川に水を取り戻すために水源涵養林の指定、森林を保安林に指定するなど推進するとともに、市民意識の醸成を図り、トラスト活動による水源環境の保全の実現に努めます。				☆					(担当外：農林課回答分)		
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進</b>											
<b>施策の方向4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために</b>											
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。				☆				A	再資源化及び再生資材の利用を促進した	2	引き続き再資源化及び再生資材の利用を促進する
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために</b>											
③ 自動車からの排気ガスの削減に努めます。											
1 環境にやさしい交通手段による移動の推進により、排気ガスの削減を図ります。（2-2-1参照）				☆				A	広報等を通じてコミュニティバスの積極利用を啓発した。	2	引き続き広報等を通じて利用啓発を実施する必要がある。
<b>施策の方向5-1-2 感覚環境（熱、かおり、音）を守るために</b>											
③ 騒音・振動対策を進めます。											
7 国道26号、国道480号、泉大津美原線、和泉中央線など環境基準を超える騒音が発生しやすい道路の沿道地域や道路を新設する場合において、緩衝緑地の設置検討・整備を関係機関に要請します。				☆				B	未実施	4	要検討
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために</b>											
① 緑のまちなみづくりを推進します。											
1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。（再掲 2-3-1-②-1）	街路樹の植栽延長	54.5km	延伸	☆			0 km	B	H23 該当路線なし	4	新設・改良道路事業の予定は不透明

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H22)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>施策の方向5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために</b>											
① 地域の歴史を活かしたまちなみづくりを進めます。											
1	熊野街道や沿線の社寺を活かして広場、ポケットパーク、案内板、休憩スポットなどを整備し、歴史の道づくりをします。	1箇所	増加	☆			0箇所	B	未実施	4	実施予定なし
2	信太の森の鏡池史跡公園、池上曾根史跡公園周辺、熊野街道沿いなど、「和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク」のルートを中心に歴史と伝統を活かした景観整備を推進します。			☆				B	未実施	4	実施予定なし
<b>施策の方向5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために</b>											
③ 災害に強いまちづくりを進めます。											
2	安全なまちづくりに配慮して、まちかど広場、ポケットパーク、生産緑地などの小規模緑地空間を機動的に確保します。			☆				B	未実施	4	実施予定なし

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進											
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために											
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。											
				☆			A	アスファルト殻等が発生する場合は建設リサイクル法に基づき、再資源化100%を徹底しています。	1	今後も再資源化100%を維持していく必要がある。	
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進											
施策の方向5-1-2 感覚環境(熱、かおり、音)を守るために											
② 悪臭対策を進めます。											
2 溝さらいをまめに行う、ごみ出しのルールを守るなど、市民生活における悪臭の防止に向けて啓発を行います。											
				☆			B	未実施	4	啓発方法について検討し、市民等に周知する必要がある。	

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H22)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>											
施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用											
施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために											
③ 水の有効利用に努めます。											
1 公共下水道への接続により不要となった浄化槽の改造費助成制度による雨水の有効利用に努めます。	浄化槽の改造費助成制度の利用者数	43人	93人	☆			2	A	下水道だより及び市ホームページで啓発を行っている	3	啓発方法等について検討し、市民等に周知する必要がある。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進											
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために											
⑤ 計画的な排水処理による水質の浄化に努めます。											
2 公共下水道計画区域整備済み地域においては、公共下水への接続を促進するため、水洗化改造資金の融資を継続して行います。	公共下水道接続率	88.5%	95%	☆			8	A	下水道だより、市ホームページ及び排水設備接続相談時において啓発を行っている	2	啓発方法等について検討し、市民等に周知する必要がある。

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進</b>											
<b>施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために</b>											
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。											
4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。				☆			44件	A	工事発注44件分、請負業者に指導した。	1	今後も引き続き、発注工事ごとに請負業者へ指導する

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期			【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレ ベルで達成 できた/2概ね 達成できた /3一部達成 できた/4実 績なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>												
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために												
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。												
				☆				A	発注した工事において(再生 資源の利用を)実施してい る。	1	今後も法令等に基づき (再生資材の利用を)実 施する。	
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために												
⑤ 計画的な排水処理による水質の浄化に努めます。												
1 公共下水道計画区域における計画的な公共下水道の整備を進めます。												
	公共下水道普及率	82.5%	95%	☆			84.4%	A	実施計画に基づき事業を実施	1	今後も事業計画に基づき 事業を実施する。	

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために</b>											
① 継続的な環境調査を実施します。											
1 大気質、水質、土壌について、今後も引き続き測定調査を実施し、必要に応じて適宜調査地点の見直しを行います。	環境基準達成率 大気（水質）	100% (90%)	100% (100%)	☆			測定点：父鬼、国分、東條橋、神田橋、光明池放流水 東條橋・神田橋は4～10月、それ以外は毎月検査の実施。	A	5地点の水質動向監視 測定地点：父鬼、国分、東條橋、神田橋、光明池放流水	1	必要に応じ、測定回数、項目を検討する。



# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 ( H 2 1 )	目 標 値 ( H 3 2 )	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
施策の柱1-1 環境学習の推進											
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために											
⑤ エコスクールの内容を充実させます。											
◆ 1 市内の小中学校はすべてエコスクール化しましたが、今後も省エネルギー、グリーン購入、雨水の利用、樹木剪定枝のチップ化、学校ビオトープなど実施し、充実を図ります。											
				☆				A	トイレ改修の際、人感センサーを導入	3	一定の省エネ効果があった。努力によりさらなる効果が望める余地がある。
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>											
施策の柱2-3 CO <sub>2</sub> 吸収源の確保											
施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために											
② 市街地における植樹を推進します。											
◆ 1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。											
	街路樹の植栽延長	54.5km	延伸	☆				B		4	地下配管等施設維持に影響を与えないスペースの確保。
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進											
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために											
① 生ごみの堆肥化を促進します。											
3 学校で発生した生ごみ堆肥の利用は学校教育田や花壇などで利用するほか、場合によっては、市内の農家又は公共施設との連携によって堆肥の活用を図ります。											
				☆				B		4	
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進											
施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために											
① 緑のまちなみづくりを推進します。											
1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。(再掲 2-3-1-②-1)											
	街路樹の植栽延長	54.5km	延伸	☆				B		4	地下配管等施設維持に影響を与えないスペースの確保。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために</b>											
② 環境について学ぶ機会を拡充します。											
1 地域の自然環境や歴史・文化などに関わる教育副読本の作成を検討します。						☆	21校	A	副読本「ゴミとわたしたち」を配付し、ゴミの問題、リサイクルについて考える場を作った	1	今後とも継続していく
2 地域住民との協働によるエコマップ作成など住民参加型副読本作りについて検討します。						☆		B	未実施	4	今後、地域住民との連携を図っていく
3 学校教育において「Kids' 環境マネジメントシステム」の導入を検討します。						☆		B	未実施	4	今後、導入を検討していく
③ いろいろな生活体験の機会を拡充します。											
1 学校教育田や農家の協力により、農業体験の機会を設けます。				☆			2校	A	米作りからみた環境教育	2	他校でも取り組んでいく
◆ 2 「いずみのちの森事業」の一環として、各学校の児童たちにドングリから樹木の苗を育成してもらい、それを植樹し森を再生する取組など環境学習の場を提供します。	植栽した本数（累計）	-	18万本	☆			1校	A	青葉はつが野小学校での植樹の取組	2	他校でも取り組んでいく
④ 学校と地域の連携を推進します。											
1 家庭、地域、学校が協力して取組む体制づくりを推進します。				☆			8校	A	和泉メダカネットワークの支援による「メダカの学校」を実施	3	教育研究所においても「メダカ」の育成を進めていく
2 学校以外の地域の中に環境学習ができる場を提供していただき、子どもたちと地域の人たちが交流できる機会を拡充します。					☆		3校	A	地域清掃に参加し、不法投棄のゴミ問題の考察をした	3	参加校を増やしていきたい

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために</b>											
④ 外部の人材を活用した環境教育を行います。											
1 「いずみ環境くらぶ」など、外部の環境問題への取組を行っている人材を活用し、環境教育を充実します。					☆			B		4	研究所の移転に伴い理科室等を新設し、環境教育を充実させる
⑤ エコスクールの内容を充実させます。											
◆ 1 市内の小中学校はすべてエコスクール化しましたが、今後も省エネルギー、グリーン購入、雨水の利用、樹木剪定枝のチップ化、学校ビオトープなど実施し、充実を図ります。				☆				A	一部の学校でビオトープを活用することができた	2	ビオトープの観察等を通して、環境教育を進める
⑥ 小中学校教員向け環境教育講習会などを実施します。											
1 環境学習を推進するために、体験型学習の実践や環境教育プログラムの作成など、教員向けのセミナーを開催します。					☆	50名		A	初任者教員を対象に、清掃体験プログラムを実施	2	清掃体験プログラムは効果的だったので、今後も継続していく
⑦ 広域的な環境交流を推進します。											
1 「近畿『子どもの水辺』交流会」「『私の水辺』大発表会」への参加などにより、子どもたちの水辺活動の継続・広がりを図り、市域を越えた広域的な交流を推進します。					☆	10校		A	風土木事務所主催「水辺の学校」への参加	2	水辺の学校の取組を広げていきたい
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる</b>											
<b>施策の柱3-1 生物多様性の確保</b>											
<b>施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために</b>											
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。											
2 学校や公園、河川、ため池などにおいて生きものの生育・生息空間を積極的に創出することにより、生物の多様性の維持・回復に努めます。				☆				B		4	H24年度の研究所の移転に伴い榎尾川での活動を検討していく
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために</b>											
④ 市民の緑意識の向上に努めます。											
3 家庭や学校、校外学習、生涯学習などにおいて、子どもから大人まで参加できる緑に関する環境学習の推進に努めます。	緑に関する市民体験型学習会の開催数	32回/年	30回以上/年	☆				B		4	

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現況 値 (H21)	目標 値 (H22)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために</b>											
② 環境学習会、環境関連講座の機会を拡充します。											
◆ 1 生涯学習講座において、環境に関する講座・教室など、ライフステージに応じた学習機会の充実に努めます。											
③ 活動のなかまづくりを進め、活動の環を広げます。											
2 環境関連の活動をしている団体について市民に情報提供し、活動の活性化や団体間の交流の活性化を促進します。											
				☆				B	未実施	4	講座の周知に努める。
				☆				B	未実施	4	関係団体と連携する。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために</b>											
④ 市民の緑意識の向上に努めます。											
3 家庭や学校、校外学習、生涯学習などにおいて、子どもから大人まで参加できる緑に関する環境学習の推進に努めます。											
	緑に関する市民体験型学習会の開催数	32回/年	30回以上/年	☆				B	未実施	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために</b>											
② 環境について学ぶ機会を拡充します。											
1 地域の自然環境や歴史・文化などに関わる教育副読本の作成を検討します。						☆		B	特に実施していない	4	実施に向け、関係部署と連携を図っていく予定である。
<b>基本目標3 生きものがいっばいで自然を大切にすまちなちをつくる</b>											
<b>施策の柱3-1 生物多様性の確保</b>											
<b>施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために</b>											
③ 絶滅危惧種や天然記念物の調査・保全に努めます。											
◆ 1 絶滅が危惧される生物や天然記念物の生息・分布状況を把握し、保全に努めます。				☆				A	特に実施していない	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていきます。
2 調査結果について必要に応じ、ホームページや広報などで公表し、保全意識の啓発を図ります。				☆				B	特に実施していない	4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていきます。
◆ 3 貴重種保護の周知徹底を図り、むやみな採取や捕獲をしないよう啓発に努めます。				☆				A	信太の森ふるさと館において、信太山の自然についての観察会等を開催。	1	今後も啓発活動につとめ、啓発活動に努めます。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために</b>											
③ 天然記念物など指定樹木の保全に努めます。											
1 貴重な樹木については、天然記念物に指定し、保全します。	天然記念物に指定された樹木の数	府7・市1	増加	☆			府7・市1	A	大阪府指定天然記念物については樹勢回復工事をおこなった。	4	指定候補について、調査を重ね、検討していく。但し、所有者の同意が必要である。
<b>施策の方向5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために</b>											
① 地域の歴史を活かしたまちなみづくりを進めます。											
1 熊野街道や沿線の社寺を活かして広場、ポケットパーク、案内板、休憩スポットなどを整備し、歴史の道づくりをします。	ポケットパークの整備箇所数	1箇所	増加	☆				A	案内板などの設置をしている	3	毎年設置予定である
2 信太の森の鏡池史跡公園、池上曽根史跡公園周辺、熊野街道沿いなど、「和泉弥生ロマン・ツデーウォーク」のルートを中心に歴史と伝統を活かした景観整備を推進します。				☆				A	歴史ウォーク等の啓発事業を実施し、歴史遺産探索ルートの形成を試みている。	2	関連部署と連携を図っていく。
③ 身近な歴史や自然、生活文化とふれあう機会を拡充します。											
1 自然との調和の仕方、歴史文化・伝統・風習にまつわるものなど環境にやさしい生活文化を現代の社会に引き継いでいく環境づくりを進めます。				☆				A	歴史ウォーク等の啓発事業を実施し、歴史遺産探索ルートの形成を試みている。	2	関連部署と連携を図っていく。

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H22)	継続	短期	長期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進</b>											
<b>施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために</b>											
① 環境情報の収集と提供を行います。											
2 環境関連の書籍の充実及び「図書館情報提供システム事業」による資料検索システムの整備、拡充に努めます。	環境関連図書購入数	25冊/年	25冊/年	☆			36冊/年	A	環境関連の書籍の充実、及び「図書館情報提供システム事業」による資料検索システムの整備、拡充に努めた。	2	今後も環境関連書籍の充実に努めていく。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベ ルで達成で きた/2概ね 達成できた/ 3一部達成 できた/4実 績なし	【課題等】 効果及び今 後の方向性 ・課題等
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期					
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-1 環境学習の推進</b>											
<b>施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために</b>											
③ 活動のなかまづくりを進め、活動の環を広げます。											
2	環境関連の活動をしている団体について市民に情報提供し、活動の活性化や団体間の交流の活性化を促進します。			☆				A	和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」において環境関連の活動をしている団体についての情報提供や団体に対して活動場所や情報の提供を行った。	2	今後も、活動場所や情報を提供し、団体の活動を支援していく。また、より効果的な市民への情報提供の方法などを検討していく。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進</b>											
<b>施策の方向5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために</b>											
③ 身近な歴史や自然、生活文化とふれあう機会を拡充します。											
1	自然との調和の仕方、歴史文化・伝統・風習にまつわるものなど環境にやさしい生活文化を現代の社会に引き継いでいく環境づくりを進めます。			☆				A	和泉市の伝統文化の継承と地域交流の促進に寄与するだんじりの円滑な運営を図るため、関係機関との連絡・調整などその運営について検討・協議するとともに、「和泉市だんじり等連絡協議会」に加盟する町会に対し、その活動にかかる経費の一部について補助金を交付した。	2	だんじりの安全な曳行及び伝統行事としてのだんじりまつり等の保存と発展に寄与した。
2	次世代を担う子どもたちへ環境や文化を継承できるような空間を確保していきます。			☆				A	地域の活動・交流拠点として、南部リージョンセンターの管理運営を行っている。また、平成27年度のオープンに向け、北部リージョンセンターの整備を行っている。	3	より多くの子どもたちへ環境や文化を継承できるような手法について検討していく。
<b>施策の方向5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために</b>											
③ 災害に強いまちづくりを進めます。											
1	避難路、避難地、防災公園、緩衝緑地などのネットワークとオープンスペースの確保を行います。			☆				A	テクノステージに防災講演を設置	3	地域防災計画にも反映させる。
4	避難路沿道建物の不燃化や災害危険地域の改善を推進します。			☆				B	未実施	4	改善できるよう推進する。

# 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進</b>											
<b>施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために</b>											
① 環境情報の収集と提供を行います。											
◆ 1 「地域情報化システム事業」によるCATV、ホームページ、広報などを活用して、環境に関する情報を公平に発信できる情報整備を推進します。								A	広報紙では、特集ページ(4ページ)を活用して、市が推進している「森づくり」やごみの減量化について紹介。またCATVでは、自然環境(自然観察会)についての取り組みなどを紹介。	2	引き続き、環境への取り組みを広報紙やCATVなどで紹介していく。



## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる</b>											
<b>施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用</b>											
<b>施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために</b>											
① 省エネルギー化を推進します。											
◆ 1 公共施設の省エネルギー化とエネルギーコスト削減を推進します。	電力(ガス)使用量	1,279,431kwh (103,033m <sup>3</sup> )	現状維持	☆			1,184,921kwh (87,957m <sup>3</sup> )	A	空調(電気式・ガス式)の温度管理の徹底、執務室や廊下等の蛍光灯の削減などの対策を実施した。	1	今回の取組により、一定の効果が見出せたことから、引き続き同様の対策を実施する。
③ 水の有効利用に努めます。											
3 公共施設における節水に努めます。	水道使用量	12,165m <sup>3</sup>	現状維持	☆			13,681m <sup>3</sup>	B	未実施	4	IS014001と連動した節水対策(こまめな節水の指導など)を検討し、また水道使用量の増加についての調査を行う。

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の数値目標)	現況値 (H21)	目標値 (H32)	継続	短期	長期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベルで達成できた/2概ね達成できた/3一部達成できた/4実績なし	【課題等】 効果及び今後の方向性・課題等
<b>基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる</b>											
<b>施策の柱4-2 廃棄物の適切な処理の推進</b>											
<b>施策の方向4-2-1 3Rを推進するために</b>											
② 環境にやさしい製品の購入を促進します。											
◆ <sup>1</sup> 「グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）」に基づき、環境にやさしい製品の購入を促進します。				☆			A	適宜、購入を実施した。	2	今後も環境にやさしい製品の購入を促進していく必要がある。	
<sup>2</sup> 「エコマーク」「エコリーフ」などの第三者機関による環境ラベルの情報や、「カーボン・オフセット認証ラベル」「カーボンフットプリントマーク」など、環境負荷の少ない物品の情報提供を行います。					☆		A	適宜、情報提供等を実施した。	3	今後も情報収集に努め、提供を行っていく必要がある。	

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項	平成23年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成できた /2概ね達成で きた/3一部達 成できた/4実 績なし
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進</b>											
<b>施策の方向1-2-3 国際的・広域的な連携を推進するために</b>											
① 国際協力・交流を推進します。											
1 「いずみワールドフェスティバル」などを活用し、外国における生活文化や環境について留学生など外国人市民の方々から話を聞く機会を設けます。				☆				B	未実施	4	必要に応じ関係部署と連携を図っていく
2 友好・姉妹都市である南通市（中国江蘇省）やブルーミントン市（米国ミネソタ州）と“環境”という視点からも交流を行います。				☆				B	未実施	4	必要に応じ関係部署と連携を図っていく
3 事業者や民間団体による環境国際交流を支援します。				☆				B	未実施	4	必要に応じ関係部署と連携を図っていく
③ 地球環境NGOに協力します。											
1 地球規模の環境問題への取組を行う国際的・広域的な環境保護団体との情報交流を行い、国際的・広域的な環境保全活動を市民等・事業者に紹介します。				☆				B	未実施	4	必要に応じ関係部署と連携を図っていく

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	平成23年度実績等		
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベル で達成でき た/2概ね達 成できた/3 一部達成で きた/4実績 なし
<b>基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちをつくる</b>										
施策の柱3-1 生物多様性の確保										
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために										
② 外来生物の対策と適正な管理を行います。										
4	海外の野生生物や貴重種の輸入の自粛と、本来の生息環境にないところへの動植物の移入による生態系への影響を防止するため、適切な飼育栽培管理と情報の周知を図ります。				☆		B	未着手	4	愛玩動物については、環境保全課とともに啓発を考えたい。
<b>基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる</b>										
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進										
施策の方向5-2-1 まちの環境美化を推進するために										
① ホイ捨てしないマナーの向上に努めます。										
2	犬のふんの始末のマナーについて啓発します。			☆			A	飼犬登録者への個別通知や市HPにおいて啓発を行った。	2	今後も様々な方法で、啓発を継続していく。

## 平成23年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			実績値又は実施事項 H23	【状況】 A実施/ B未着手・ 未実施/ C廃止・終 了	平成23年度実績等		
	項目 (グレー文字は他課管 轄の数値目標)	現 況 値 (H 2 1)	目 標 値 (H 3 2)	継 続	短 期	長 期			【実績】 H23年度取り組み内容	【達成度】 1高いレベ ルで達成で きた/2概ね 達成できた/ 3一部達成で きた/4実績 なし	【課題等】 効果及び今後 の方向性・課題等
<b>基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる</b>											
<b>施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進</b>											
<b>施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために</b>											
① 環境情報の収集と提供を行います。											
◆ 1 「地域情報化システム事業」によるCATV、ホームページ、広報などを活用して、環境に関する情報を公平に受発信できる情報整備を推進します。				☆					現在は所管外です。		
2 環境関連の書籍の充実及び「図書館情報提供システム事業」による資料検索システムの整備、拡充に努めます。	環境関連圖書の購入数	25冊/年	25冊/年	☆					現在は所管外です。		